

現 状

広島中央サイエンスパーク

- 研究開発機能の集積→最先端技術・研究員・試験研究機器が集積
- 環境・エネルギー・情報などバラエティに富んだ分野の産学官の主体が、世界に広がるネットワークを保有
- 研究開発機能+インキュベーション機能+人材育成機能

【研究開発系】

- ・広島県立総合技術研究所西部工業技術センター生産技術7カ所（県）
- ・中国電力㈱エネルギー総合研究所（民間）
- ・（独）酒類総合研究所（国）
- ・（独）産業技術総合研究所中国センター（国）
- ・（独）科学技術振興機構 JST イノベーションプラザ広島（国）
- ・国立大学法人広島大学産学・地域連携センター（国）
- ・パナソニックアドバンステクノロジー㈱広島研究所（民間）
- ・（株）フェニックスバイオ（民間）

・広島県産業科学技術研究所（県）

【インキュベーション・人材育成系】

- ・広島起業化センター（民間）
- ・㈱広島テクノプラザ（民間）
- ・（独）国際協力機構中国国際センター（国）
- ・ひろしま国際プラザ広島県立広島国際協力センター（県）

目的：立地研究機関等の相互の交流及び地域の企業等との情報交流及び人的交流を推進し、もって地域産業の活性化に資する

- 施設公開 ○ 共同研究調査企画事業
- インターソフ推進事業 ○ 広報事業
- その他事業

※ 協議会には、県、東広島市、商工会議所連合会、商工会連合会、食品・西部・東部工業技術センター、ひろしま産業振興機構が支援機関として参画

広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会

背景・課題

方向性

- 研究開発機能集積の発揮
- 地域発イノベーション機能の強化
- 産学の「連携」から「結合」へ

背景

- 産総研の立地→サイエンスパークの研究開発施設整備完了→日本有数の研究機能集積
- 地域産業の国際競争力の強化のためには、科学技術力による持続的なイノベーション創出が不可欠
- イノベーション創出を加速するためには、様々なリソースが活用できるオープン・イノベーション【※】が有効

※オープンイノベーション…企業内部のアイデア・技術と外部のアイデア・技術とを有機的に結合させ、価値を創造すること

産科研機能の再構築

出口の見える化 “シーズ発からニーズ発へ”

課題

- 個別機関同士の連携では、「知」の集積メリット、集積ポテンシャルの発揮が不十分
- 限られる利活用企業 → 企業への情報発信や魅力づくりが不十分
- 進まぬ共同研究や研究者交流、地域産業とのコラボレーション → プロデュース機能欠如
- 資金・マンパワー不足

今後の事業展開

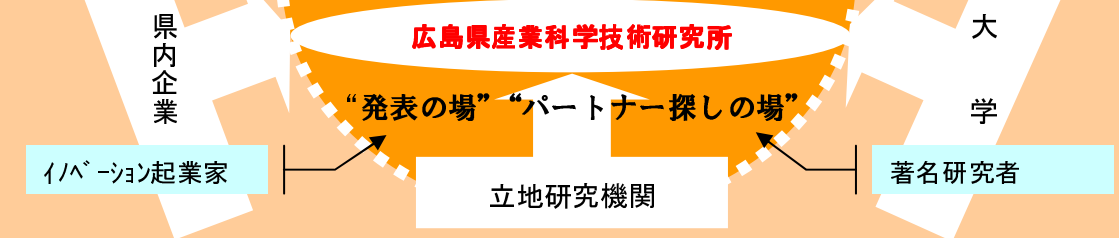
産学官の結合拠点としての広島中央サイエンスパークの再構築

- 国内外の研究者・技術・成果の交流創出と地域企業への魅力づくり
- 先端機器の開放、地域企業に対する研究開発資源（研究者・技術）の紹介・フォロー
- 産学官の知の結合機能（オープンラボ、地域産業が求める研究課題・シーズの発掘）
- 地域研究開発資源を活かしたオープン・イノベーションの実施（成功モデルの創出）

プロデュース・コーディネート機能強化

広島中央サイエンスパーク研究交流プロデューサー

- 国内外のトップクラスの研究者・技術者の招へい、研究機関への紹介、フォロー
- 招へいに合わせて「科学技術セミナー」の開催等の情報発信、交流機会の提供
- 異分野の研究者の交流による研究プロジェクトのコーディネート、支援
- 国内外のリサーチパークとの連携



オープン・イノベーションの実施 ⇒ 産業科学技術研究所

- これまで
- ・科学技術振興基金
 - ・大学のシーズからの展開
 - ・大学教授を中心としたチーム

- これから
- ・基金+産業界からの資金
 - ・企業課題を踏まえたシーズ発掘
 - ・教授を核とした産学官からの幅広いチーム

統括プロジェクトマネージャー

高効率生産技術

ナノテク・部材

新エネルギー

※ 低炭素社会の実現に貢献する地域産業に波及効果の高いテーマ（公設試の応用研究につながる要素技術）を産学官が知能と技術を結合し実現

- 課題解決を起点としたバックキャスト型（目指すゴールの絵姿から見て重要課題を特定する手法）による大学シーズの発掘
- 課題・シーズに対する産学でのすり合わせによるスコープの明確化と合意形成、関連シーズの発掘
- 産学官がヒト、モノ、カネを供給し結合する産学官共同研究体制の構築